



SAKURA

日本医療機能評価機構認定



健・康・通・信

さくら病院の理念

愛の心と確かな医療技術を以って社会に奉仕する。

Vol. 67



医療安全管理者
2内科病棟 師長
中野 真弓

新型コロナウイルスの世界的な流行により、私たちは今まで経験したことのない生活を送ることになりました。初めて知るウイルスの脅威に怯え、社会活動を制限されることで様々な自制を強いられる日々が続いています。医療現場においても同様に多くの問題が生じており、さくら病院でも感染予防対策に病院全体で取り組んでいます。病院の出入口の制限や来院者の健康状態の把握、入院患者様の外出外泊制限やご家族の面会制限など、今まで当たり前に行えていたことが出来ない現実が患者様やご家族、医療従事者すべての人達の目の前に立ち塞がります。例えば、私が看護師長として勤めている地域包括ケア病棟は、入院時から在宅に戻ることを想定し準備をしていく為の病棟です。本来ならば退院後の生活を見据え、院外での歩行訓練や自宅訪問による家屋調査、施設見学等も積極的に行っていくのですが「外出禁止・面会制限」という現実にも阻まれます。思い通りに運ばない入院生活で芽生えた不燃焼の不安や不満が時として辛辣な態度や言葉として表出され、限られた中で最大限の対応を求められます。今は、さくら病院に関わる全ての人々の安全を第一と考え感染防止に努めつつ、患者様・ご家族が最善の選択を出来るように支援することが現状での役割と考え、スタッフと共に頑張っています。今後、新型コロナウイルスのワクチンが開発され、元気を取り戻した社会で安心して暮らすにはもう暫く時間が必要です。そんな今だからこそ医療・看護の本質を見つめ「あるべき姿」を言語化し、お互いに理解、協働する姿勢を持ち続けていきたいと思っています。

さくら病院 新型コロナウイルス感染症対策設備

新型コロナウイルス感染症が収束しない中、インフルエンザが流行する季節になりました。
さくら病院では病院入り口にサーモグラフィカメラを設置し入館される方全員の発熱症状の確認を行っています。

臨時の有熱者待合所を設置し、発熱等の症状がある患者様と他の患者様との動線が重ならないように発熱外来を受診できるようにしています。

入退院相談など対面での会話が必要な部屋はすべて透明アクリル板を設置し飛沫感染防止を行っています。

■有熱者外来動線



■受付



■サーモカメラ



新型コロナウイルス感染症検査

臨床検査科

新型コロナウイルス感染症の検査には、抗原検査とPCR検査があります。
この二つの検査は、鼻咽頭ぬぐい液・鼻腔ぬぐい液・唾液を材料とする検査法です。
それぞれの特徴などをご説明します。

* 新型コロナウイルス抗原検査(簡易法)：さくら病院実施の検査

材 料：鼻咽頭ぬぐい液、鼻腔ぬぐい液

結果までの時間：15分～30分

※発熱後2～9日の間で陽性結果は確定診断とすることができますが、
陰性の場合には確定診断として医師の判断でPCR検査を行う必要があります。

* 新型コロナウイルス遺伝子検査(PCR検査)

材 料：唾液、鼻咽頭ぬぐい液、鼻腔ぬぐい液

結果までの時間：24時間 / 翌日報告

※高感度で特異的に検出が可能のため、確定診断に適しています。

これから冬場に向けて、インフルエンザ感染症も無視できません。感染症学会は、症状だけではどちらの感染症なのか見分けることは難しいので、新型コロナウイルスとインフルエンザ両方の検査をすることを推奨しています。



部署
紹介

さくらユニット

さくらユニットは全個室24床の病棟です。患者様やご家族の希望を尊重し、その人らしく過ごせるよう、患者様に寄り添った医療を行っています。好きなお酒で晩酌を楽しむ、ペットと過ごす時間を持つ、酸素吸入や持続薬液注入器等の準備を行い、自宅への外泊の実現などそれぞれのご希望に添える様努力しています。当病棟は本館4階にあり、ラウンジの窓からは油山の緑が心を癒してくれます。また月1回さくらカフェを開催し、ボランティアの方が各お部屋に当院栄養科手作りのおやつを添えてティーサービスを行い、面会の方とゆっくり過ごしてもらう時間を作っています。時にはギターやフルート、ピアノの生演奏があり、心を潤してくれます。

今年は新型コロナウイルス感染拡大で面会制限を行っている病院が大半の中、ご家族の面会は継続できるよう、感染防止対策を行い、個室内での3密に配慮した面会体制をとっています。面会できるように対応したことは、ご家族からも大変喜ばれ感謝されており、スタッフの励みになっています。今後も地域の皆様の医療ニーズに応えられるよう、医師・看護師・医療ソーシャルワーカー・管理栄養士・薬剤師・理学療法士・臨床心理士などの医療チームが協働し、質の高い医療を提供してまいります。



【新設】訪問看護ステーションさくらんぼ

責任者 小林 美保子

令和2年10月1日に、訪問看護ステーションさくらより枝分かれを致しまして、「訪問看護ステーションさくらんぼ」が開設されました。

看護師9名、事務員1名でホスピコート長尾の2階に事務所があります。訪問看護師業務を行うことが初めての看護師が多い、初々しい事業所です。

現在は、ホスピコート長尾の入居者様と隣接するアドバンスケア長尾の入居者様の訪問看護を行っています。訪問看護業務は初めてでも看護師のキャリアは長いスタッフばかりで、入居者様にとって生活の場である施設においての生活を継続できるよう、医療と生活の両側面から支援を行っています。

施設にはデイサービスを併設しており、訪問看護以外の時間でも入居者様の状態を観察することが出来、情報交換もタイムリーに行えています。また母体であるさくら病院からの訪問診療の際は、医師と情報共有を行い医療と介護の連携により、重症度や医療ニーズの高い入居者様にも安心して頂けるよう努力しています。

要介護4と5の方が多く入居されているアドバンスケア長尾においては、ご本人がご家族へ色々なことを伝えられない分、訪問看護師が訪問時の様子や変化があったことをお伝えしています。「今日、お声掛けしたらとてもいい笑顔でしたよ」等、些細なことでもご家族は笑顔でお帰りになります。つぼみのさくらんぼではありますが、利用者の方が穏やかに過ごされるようスタッフ一丸となり頑張っていきます。



SAKURA
令和二年度

第22回 さくらフォーラム開催

「コロナ禍でも学びの精神は継続していこう」という思いのもとに、会場のホテルとも打ち合わせを重ね、感染予防を講じた上で第22回さくらフォーラムを企画いたしました。9月7日（月）、福岡大学医学部呼吸器内科学教授の藤田昌樹先生をお迎えし、「知っておきたい呼吸器領域の新情報」という時宜にかなったテーマでご講演いただく予定でしたが、あいにく台風10号接近の影響で紙上開催とさせていただきました。

ご参加を予定されていた皆様には、ご連絡等でご迷惑をおかけし誠に申し訳ありませんでした。新型コロナウイルス感染症に関する最新の情報を直接お話しいただくことは叶いませんでしたが、45ページにわたる講演資料をお配りしましたので参考にいただければ幸いです。次回また皆さまにお会いできる日を心待ちにしております。

(地域医療連携室室長 吉瀬由美)

サークル
紹介

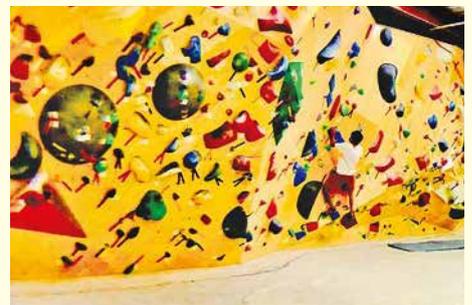
ボルダリング部

ここ数年で耳にする機会が増えたボルダリング。東京オリンピックの正式種目に選ばれたり、最近注目されているスポーツの一つです。

さくら病院ボルダリング部は、職員の健康維持や交流を目的として活動を開始し、発足して3年目を迎えました。月3回程度、七隈のペアハンズボルダリングジムにて活動しております。

ボルダリングは頭と身体を使って壁を登るスポーツです。定められたスタート位置からゴールまで力だけに頼らず、重心の位置や身体の使い方など、戦略をたてて課題クリアを目指していく競技です。自分の体力やペースに合わせて立ち足はだかる壁に向き合い、できなかった課題ができるようになったときは、達成感や充実感を味わうことができます。無酸素運動が主体ですが、普段あまり使われない全身の筋肉を使うため、中長期的にみて、基礎代謝アップ、更には太りにくい身体作りに繋がります。

現在は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動自粛期間を経て控えめに活動を再開しています。自粛ムードが続く中、コロナ鬱にならないよう、予防対策・人数制限を徹底した上で、心と身体の健康維持に努めていきたいと思っております。



作ってみよう～季節のおすすめ料理～ 鮭のもみじ焼

【材料】1人前

- ・鮭 1切れ
- ・塩 適量
- ・えのき、しめじなど好きなきのこ 50g
- ・酒 小さじ1杯
- ★人参 30g
- ・味噌 1.5g
- マヨネーズ 小さじ2杯
- ・かぼす(お好みで)
- ・使用するもの アルミホイル

【作り方】

- ①人参をすりおろし、★は混ぜ合わせソースを作っておく
 - ②アルミホイルを適当な大きさに切り、その上に鮭を置き、塩をふる
 - ③②に石づきを切り落としたきのこを鮭のまわりにしき全体に酒をかける
 - ④①のソースを③の鮭の上へかけホイルを閉じ、オーブントースターで10分くらい焼く
- フライパンで蒸し焼きにしてもいいです
(焼き目を付けたい方は、ホイルを開けて追加で焼いてください)
※お好みでかぼすを絞ってください

【ワンポイント】

鮭は、ビタミンB₁とB₂が豊富に含まれ、糖質と脂質の代謝を助け、体内の糖と脂質を燃やしてくれる効果があります。きのこの中で特にえのきには、疲労回復効果を高める働きがあり、季節の変わり目で疲れを感じやすいこの時期に取りたい食材です。今回は鮭を使用しましたが、どんなお魚にも合い、簡単に調理も出来るので取り入れやすい献立になっています。ぜひご自宅でお試ください！

感染広報だより

インフルエンザについて

新型コロナウイルス感染症が終息していない中、インフルエンザの流行の季節になりました。
今回はインフルエンザの特徴と注意するポイントについてまとめてみました。

インフルエンザは例年では11月下旬～12月上旬に始まり、翌年1月～3月に増加して4月～5月に減少する傾向です。38℃以上の発熱・頭痛・関節痛・筋肉痛・倦怠感などの症状が急速に表れるのが特徴で、インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気です。

重症化した場合、まれに急性脳症(お子様)や肺炎(ご高齢の方や免疫力の低下している方)を伴うことがあります。



インフルエンザの予防

インフルエンザは、くしゃみ、^{がいそ}咳、唾液などのしぶきと共に抄出されたウイルスを鼻腔から吸入することによって感染します。インフルエンザを拡散させない為にも、**マスク**をすることが効果的です。また飛び散ったインフルエンザウイルスが付着したものを手で触れると、鼻や口、眼、肌などを介してインフルエンザに感染することがあります。**手洗い**が感染を防ぐ上で有効なのはそのためです。また、空気が乾燥すると、喉の粘膜の防御機能が低くなるため、インフルエンザにかかりやすくなります。乾燥しやすいこれからの季節、冬場の室内では加湿器などを使って50～60%の**湿度**に保つことも効果的です。

★ワクチンによる予防法★

最も確実な予防は流行前にワクチン接種を受けることです。

★ワクチン接種の時期★

インフルエンザワクチンは接種してから実際に効果を発揮するまでに約2週間かかります。通常、流行期間が12～3月ですから、**11月中旬頃**までには接種を終えておくことより効果的でしょう。



★インフルエンザを広げない為に次のことを心がけましょう★

- 1. 栄養と休養を十分取る** 体力をつけ、抵抗力を高めることで感染しにくくなります。
- 2. 適度な温度、湿度を保つ** ウイルスは低温、低湿を好み、乾燥しているとウイルスが長時間空気中を漂います。加湿器などで室内を適度な湿度(50～60%)に保ちましょう。
- 3. 外出後の手洗いとうがいの実施** 手洗いは接触による感染を防ぎ、うがいは口の中を洗浄し、のどの乾燥を防ぎます。
- 4. 人ごみを避ける** 病原体であるウイルスを寄せ付けないようにしましょう。
- 5. マスクを着用する** インフルエンザが流行してきたら外出する際はマスクを着用しましょう。罹患した人には、咳やくしゃみの飛沫から他人への感染を防ぐ効果もあります。『人に対して』という意味で『エチケットマスク』などといわれることもあります。

※かかってしまったら・・・

無理をして外出(学校、職場、公共施設など)をしないように自宅待機！マスクをして感染拡大防止を！

インフルエンザ予防の基本は、手洗い・うがいです!!

正しい手洗い・うがいのしかたを身につけましょう。
(手洗いと同時に**手指消毒**も有効です。習慣化していきましょう。)

こんにちは!

地域医療連携室です。 どうぞお気軽にご相談ください。

地域医療連携室(医療介護相談室)では、患者様・ご家族からの様々なご相談を承っています。

例えば、当院への入院のご相談・退院後の生活に対する不安・介護サービス等社会資源のご紹介・経済的な問題についてなど、一緒に考えさせていただきます。

また、患者様へ適切な医療が提供できるよう、地域の診療所や病院・施設・在宅サービス事業所等との連携に努めています。

どうぞお気軽にお声かけください。

地域医療連携室

TEL 092-864-1245

FAX 092-864-1213

受付 平日:9:00~17:00
土曜日:9:00~12:30

担当者 室長 吉瀬
副室長 松山
看護師 井上
医療ソーシャルワーカー 橋迫・足立・山本
事務 谷山



外来診察表

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	
午前	第1診察室	村上 祐一 内科/消化器内科	矢野 雅也 循環器内科	東 大樹 内科/糖尿病内科	中野 修治 腫瘍血液内科	江頭 省吾 内科/循環器内科	岡島 幹篤 内科/神経内科
	第2診察室	小田 晋也 内科/循環器内科	江頭 啓介 総合内科	江頭 芳樹 総合内科	岩崎 敬雄 リハビリテーション科	江頭 啓介 総合内科	江頭 啓介 総合内科
	第3診察室	江頭 省吾 内科/循環器内科	王寺 恒治 内科/消化器内科	秋満 俊介 内科/循環器内科	江頭 啓介 総合内科	王寺 恒治 内科/消化器内科	東 大樹/大城 彩香 糖尿病内科
	第5診察室	吉田 芽 健診/ドック	村上 修二 内科/心療内科	天野 角哉 内科/消化器内科		田邊 桃香 内科	
	第6診察室	楠原 浩之 内科/消化器内科	吉田 芽 健診/ドック	吉田 芽 健診/ドック	平野 涼介 呼吸器内科	吉田 芽 健診/ドック	吉田 芽 健診/ドック
	午後	第1診察室	天野 角哉 内科/消化器内科	江頭 芳樹 総合内科	王寺 恒治 内科/消化器内科	村上 祐一 内科/消化器内科	堀端 智子 内科/消化器内科
第2診察室		岡島 幹篤 内科/神経内科	山尾 有加 糖尿病内科	米良 英和 神経内科	江頭 啓介 総合内科	小田 晋也 内科/循環器内科	
第3診察室		秋満 俊介 内科/循環器内科	河野 博之 内科/循環器内科	吉田 芽 内科/循環器内科	江頭 省吾 内科/循環器内科	秋満 俊介 内科/循環器内科	
第5診察室		田邊 桃香 内科		村上 修二 内科/心療内科	中野 修治 健診/ドック	中園 智美 心療内科	
第6診察室			吉田 芽 健診/ドック	磯部 泰司 腫瘍血液内科	楠原 浩之 内科/緩和ケア内科		

病院までの交通アクセス

- 地下鉄七隈線/福大前下車1番出口より徒歩10分
- 都市高速/堤ランプより車で3分
- 車/天神より約30分(本館地下駐車場、本館東側に第2駐車場があります。)
- バス/西鉄バス(さくら病院前バス停下車)の場合
 - 天神方面より:協和ビル前のりば片江(当)行.....13番
 - 西鉄大橋駅より:.....外環700番
- 西鉄バス(西片江一丁目バス停下車)の場合
 - 天神方面より:警固神社・三越前のりば片江(当)行.....114番
 - 協和ビル前のりば片江(当)行.....12・140番
 - 西新・飯倉方面(脇山口)より:.....95番
 - 博多駅方面より:博多駅前のりば片江(当)行.....16番
 - 博多バスターミナル片江(当)行.....12・114番
 - 桧原・片江方面より:.....6・12・16・95・114・140番



医療法人社団 江頭会 さくら病院

医療法人社団 江頭会 さくら病院

サービス付き高齢者向け住宅

住宅型有料老人ホーム

在宅医療介護センターさくら 訪問看護ステーションさくらんぼ ホスピコート長尾 アドバンスケア長尾

社会福祉法人 桜花会 ライフケア大手門

社会福祉法人 桜花会 ライフケアしかた

社会福祉法人 桜花会 ライフケア柏原

〒814-0143 福岡市城南区南片江6丁目2-32 TEL092-864-1212 FAX092-865-4570
E-mail:info@sakurahp.or.jp ホームページ:http://www.sakurahp.or.jp/

直通TEL 1内科 092-872-5611
事務所 092-801-7386 2内科 092-872-5612
ユニット 092-872-5615 3内科 092-872-5613